



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コロナ

コード番号 5909 URL https://www.corona.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大桃 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長兼
情報システム部担当 (氏名) 五十嵐 義夫 (TEL) 0256-32-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	69,125	2.6	2,332	△5.7	2,638	△6.5	1,882	△8.0
2024年3月期第3四半期	67,352	△3.1	2,472	△16.6	2,822	△13.9	2,045	△11.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,015百万円(△22.8%) 2024年3月期第3四半期 2,612百万円(△28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	64.47	—
2024年3月期第3四半期	70.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	106,260	76,413	71.9
2024年3月期	103,294	75,184	72.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 76,413百万円 2024年3月期 75,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2025年3月期	—	14.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.6	1,300	△4.1	1,600	△9.5	1,200	△8.2	41.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	29,342,454株	2024年3月期	29,342,454株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	133,528株	2024年3月期	166,205株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	29,196,816株	2024年3月期3Q	29,199,262株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善した一方で、原材料・エネルギー価格の高止まり、物価上昇等による経済活動や国民生活への影響が続きました。

住宅関連機器業界においては、政府の住宅に関する支援制度の後押し等もあるなか、新設住宅着工戸数は前年並みで推移しました。

このような状況の中、当社グループは持続可能な社会に向けた「2026ビジョン」の実現を目指し、第9次中期経営計画のもと、3つの基本戦略「ヒートポンプ/電化事業の拡大」「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」「業務合理化による高コスト体質からの脱却」の取り組みを進めました。「ヒートポンプ/電化事業の拡大」においては、お湯に微細な気泡(マイクロバブル)を発生させる装置を内蔵し、温泉のように白濁したシルキーなお湯を自宅で楽しむことができるエコキュートをラインアップしたほか、スマートリモコンとスマートフォンアプリを連携させて床暖房の遠隔操作が可能になったヒートポンプ式温水床暖房システム「コロナエコ暖フロア」の新モデルを発売しました。また、「『楽』から『楽しい』への事業領域拡大」においては、暮らしの楽しみや可能性を“外へ広げる”という意味を込めたブランド「OUTFIELD(アウトフィールド)」でポータブル電源対応石油ファンヒーターのラインアップを拡充しました。「業務合理化による高コスト体質からの脱却」においては、生産性向上や業務効率化に向けて取り組みました。

これらの取り組みにより、製品の種類別売上高の概況は、以下のとおりとなりました。

<暖房機器>

暖房機器の売上高は、21,308百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

石油ファンヒーターや寒冷地向けの石油暖房機、トイレ等のより狭いスペースに設置可能な壁掛型遠赤外線暖房機の新モデルなど、需要期における販売活動に取り組みました。しかしながら、昨年の流通在庫過多に加え、需要期前半の気温が全国的に高く推移したことも影響し、暖房機器全体は前年同四半期を下回りました。

<空調・家電機器>

空調・家電機器の売上高は、13,298百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

ルームエアコンは、寒冷地を中心に設置工事が不要なウインドタイプの需要が増加したほか、気温が平年より高めに推移したことも後押しとなり、前年同四半期を上回りました。除湿機は需要期の天候不順も影響し、販売が伸び悩みましたが、空調・家電機器全体は前年同四半期を上回りました。

<住宅設備機器>

住宅設備機器の売上高は、29,733百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

政府の補助金制度を活用し、積極的に提案活動に取り組んだエコキュートの販売や家庭用給湯・暖房システム用のヒートポンプユニットが好調に推移しました。石油給湯機は消費者の買い控え等の影響による需要の伸び悩みもあり、前年同四半期を下回りましたが、住宅設備機器全体は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は69,125百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。利益面については、住宅設備機器、空調・家電機器は好調に推移したものの、暖房機器の販売減少、原材料価格高騰の影響や物流費の上昇などもあり、営業利益は2,332百万円(前年同四半期比5.7%減)、経常利益は2,638百万円(前年同四半期比6.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,882百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループは、通年商品の住宅設備機器のほか、夏季に需要の多いルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬季に需要の多い暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があります。売上高及び利益は、暖房機器の割合が高い第3四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,848百万円増加し、58,880百万円となりました。これは現金及び預金が1,333百万円、有価証券が3,899百万円、商品及び製品が3,906百万円それぞれ減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が10,522百万円、電子記録債権が876百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

現金及び預金につきましては、売上債権の増加などにより減少しております。有価証券につきましては、主に譲渡性預金の減少によるものであります。商品及び製品につきましては、主に空調・家電機器の在庫が減少しております。売上債権につきましては、当社グループの売上高には季節的変動があり、前連結会計年度より第3四半期連結会計期間が大きくなる傾向にあるためであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,118百万円増加し、47,380百万円となりました。これは投資有価証券が842百万円増加したことが主な要因であります。

投資有価証券につきましては、主に債券の購入によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比べ2,160百万円増加し、27,636百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が933百万円減少した一方、未払法人税等が617百万円、流動負債のその他が2,457百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

支払手形及び買掛金につきましては、主に暖房機器の生産量が増加した一方、支払サイトの短縮及び空調・家電機器の生産量の減少などに伴い減少しております。未払法人税等につきましては、当社グループの売上高の季節的変動に起因し、第3四半期連結会計期間末における課税所得が増加する傾向にあるためであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比べ424百万円減少し、2,209百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比べ1,229百万円増加し、76,413百万円となりました。株主資本においては、利益剰余金が配当金の支払により817百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,882百万円増加しております。また、自己株式の処分などにより31百万円増加しております。その他の包括利益累計額においては、その他有価証券評価差額金が101百万円、退職給付に係る調整累計額が31百万円それぞれ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した数値から変更しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,884	4,551
受取手形、売掛金及び契約資産	9,314	19,836
電子記録債権	10,902	11,779
有価証券	12,799	8,900
商品及び製品	14,276	10,369
仕掛品	789	899
原材料及び貯蔵品	1,263	1,285
その他	1,805	1,261
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	57,032	58,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,748	3,500
土地	10,210	10,210
その他（純額）	2,358	2,522
有形固定資産合計	16,317	16,233
無形固定資産	405	379
投資その他の資産		
投資有価証券	21,450	22,292
その他	8,112	8,499
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	29,538	30,767
固定資産合計	46,261	47,380
資産合計	103,294	106,260
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,373	18,440
未払法人税等	452	1,070
製品保証引当金	493	512
その他	5,156	7,613
流動負債合計	25,476	27,636
固定負債		
退職給付に係る負債	10	13
その他	2,622	2,195
固定負債合計	2,633	2,209
負債合計	28,110	29,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,449	7,449
資本剰余金	6,686	6,686
利益剰余金	59,217	60,282
自己株式	△162	△130
株主資本合計	73,191	74,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	737	839
土地再評価差額金	772	772
退職給付に係る調整累計額	482	513
その他の包括利益累計額合計	1,992	2,125
純資産合計	75,184	76,413
負債純資産合計	103,294	106,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	67,352	69,125
売上原価	52,158	53,951
売上総利益	15,194	15,173
販売費及び一般管理費	12,722	12,841
営業利益	2,472	2,332
営業外収益		
受取利息	146	142
受取配当金	65	72
有価証券売却益	4	1
持分法による投資利益	30	24
その他	108	89
営業外収益合計	354	330
営業外費用		
支払利息	1	2
有価証券売却損	—	17
為替差損	2	3
その他	0	0
営業外費用合計	4	23
経常利益	2,822	2,638
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	51	0
特別利益合計	53	3
特別損失		
固定資産除却損	22	4
投資有価証券売却損	0	0
その他	—	0
特別損失合計	22	5
税金等調整前四半期純利益	2,854	2,636
法人税、住民税及び事業税	1,513	1,235
法人税等調整額	△705	△481
法人税等合計	808	754
四半期純利益	2,045	1,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,045	1,882

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,045	1,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411	101
退職給付に係る調整額	154	31
その他の包括利益合計	566	133
四半期包括利益	2,612	2,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,612	2,015
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、住宅関連機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,605百万円	1,206百万円